

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	急性期病院における被殻出血患者の出血量による下肢装具作製の違いについて - 後方診的調査研究 -
所属科	リハビリテーション科
研究責任者	栗田 慎也
研究期間	倫理委員会許可日～2021年12月15日
研究概要	<p>○目的</p> <p>本調査は当院に入院した被殻出血患者が今までの報告のようにCT画像の出血量が下肢装具作製の有無に関与しているのかを明らかにする。</p> <p>○対象</p> <p>2018年4月～2020年3月に当院に入院した被殻出血患者</p> <p>○方法</p> <p>倫理委員会許可日より電子カルテより情報を収集する。</p> <p>調査項目：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医学的情報（診断名、在院日数、発症から入院までの日数、発症から理学療法開始までの日数、既往歴、検査結果、内服内容などの情報）および人口統計学的因子（性別、年齢、身長、体重など） 2) 初回CT撮影時の被殻出血の出血量および部位 3) 脳室穿破の有無 4) 運動麻痺の程度(Brunnstrom Recovery Stage) 5) 機能的自立度評価法(Functional Independence Measure) 6) 高次脳機能障害の有無 7) 感覚障害の有無 8) 当院のリハビリテーション時に使用していた下肢装具の種類（備品用下肢装具を含む） 9) 下肢装具作製の有無 <p>有の場合は、発症から作製までの期間と作製した下肢装具の種類</p>

	<p>10)転帰先</p> <p>11)転院の場合は、返送された診療情報提供書の内容 (評価項目：4),5),6),7),9),10),回復期リハビリテーション病院, 退院時に使用していた下肢装具)</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	<p>本研究に関係するすべての研究者は最新の「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施する。</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問合せ先までご連絡ください。</p>
臨床研究登録の有無	<p><input type="radio"/> 無 ・ 有 (臨床研究登録番号：)</p>
研究の問合せ先	<p>公益財団法人 東京都保健医療公社 荏原病院 リハビリテーション科 栗田 慎也</p> <p>住所：〒145-0065 東京都大田区東雪谷 4-5-10</p> <p>TEL：03-5734-8000</p> <p>FAX：03-5734-8023</p>
結果の公表について	<p>学会発表・論文にて報告する</p>
利益相反について	<p>なし</p>